

「地形としての建築」 周防 貴之さん

粘土瓦のリーディングカンパニーである株式会社鶴弥が、瓦産業の振興と探求のために2023年10月から運営するウェブメディア「ヒトツチ」による東京初のイベントとして、建築家の周防貴之さんによるトークイベントを開催します。

2024.3.6.WED 開場 18:00
開始 18:30

会場 **SHIBAURA HOUSE** (東京都港区芝浦3-15-4)

トークイベント **18:30~20:00** (会場 5F) ※開場 18:00

懇親会 **20:00~21:00** (会場 1F) ※軽食とドリンクあり

形式 会場参加 + オンライン参加 (YouTube Live)

定員 会場 40名 お申し込み先着順 / オンライン 無制限

申込方法 Peatixよりお申し込み



参加費 無料

アクセス JR田町駅より徒歩7分/地下鉄三田駅より徒歩10分

主催・当日お問い合わせ先

株式会社 鶴弥 TEL 090-5867-1665 (営業企画部/久保)

ヒトツチは株式会社鶴弥が運営するウェブメディアです。古いと思われがちな瓦という建材について、現代の建築家たちがどのように感じ、どのような活用に取り組んでいるのか。瓦に関わる職人たちへのインタビュー、瓦や粘土系素材を用いた国内外の名建築や現代建築のレポート、ヴァナキュラーな建物や風景についての論考など。様々な建築関係者が瓦について考え、触れる機会を創出し、その思考を広く発信していきます。

ウェブメディア「ヒトツチ」: <https://hitotsuchi.media>

ヒトツチ



登壇者 周防 貴之 さん

建築家/SUO代表

2006年慶應義塾大学大学院理工学研究科を修了後、妹島和世建築設計事務所・SANAAを経て、2015年にSUOを設立。建築設計を中心に活動し、アーティストや様々な作家との協働による建築プロジェクトも手掛けている。建築作品として、れいがん茶屋(2021, 香川県)、高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」(2022, 香川県)などがあり、進行中のプロジェクトとして、大阪・関西万博シグネチャーパビリオン河瀬直美館(2025予定, 大阪府)、Saito Collection Museum(京都府, 2024予定)、Danh Vo House(京都府, 2024予定)などがある。大型インスタレーションとしてChim↑Pom「ハッピースプリング」展(2022, 森美術館)など多くのアートプロジェクトを手掛けている。
<https://suosuo.jp/>

モデレーター 黒川 彰 さん

建築家/株式会社IEDIA /
Sho Kurokawa architects 株式会社



瓦の、 その先へ。

陶

「一級品の美しさと暮らす

瓦と同じ自然素材の粘土を
1130℃の窯で焼き締めた、
陶器の強さと美しさをもつ壁材です。
塗装による着色と違い、
高耐久で色落ちや劣化がおこりません。

壁

一段上の邸宅に彩る

圧倒的な存在感で
格調高い空間を演出する壁材です。
陶器の重厚感とぬくもり、両方を併せ持ち
屋内外を問わずご使用いただけます。



株式会社 鶴弥

創業から130年以上にわたり、粘土瓦の製造・販売を行い、防災瓦「スーパートライ110」を主軸に活発な新製品投入を続ける粘土瓦業界のトップメーカー。市場ニーズに対応した「スーパートライ110 タイプI Plus」や、粘土瓦製造技術を生かした陶板壁材「スーパートライ Wall」を開発するなど、常に新たな挑戦を続けている。

鶴弥: <https://www.try110.com/>

板

一直線に伝統を受け継ぐ

1,810mm×303mmの大判サイズの壁材です。
伝統的な瓦の製法を、革新的な技術で壁材に継承。
130年の実績に裏打ちされた
確かな品質を保証します。



材

一点物の趣を楽しむ

陶器の多彩な表情が芸術品のような壁材です。
本物の自然素材にしか出せない
味わい深い風合いは、
一つとして同じ仕上がりはありません。

陶板壁材スーパートライWallは鶴弥が瓦づくりのノウハウを生かして開発した新しい壁材です。

「陶板壁材スーパートライWall」

詳しい情報はコチラ▶

